

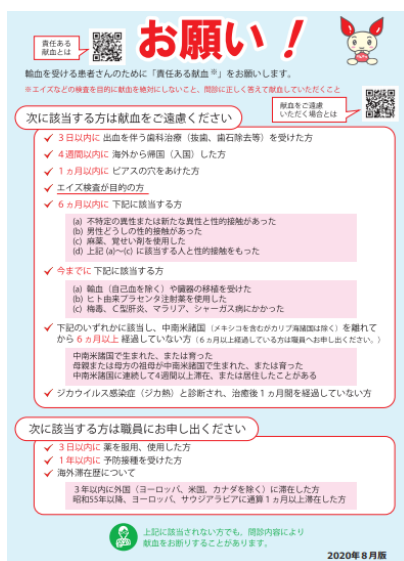
献血者への問診等の実施について

1 受付時における対応

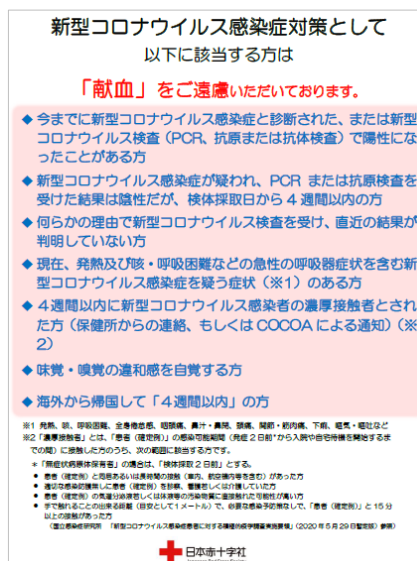
献血者の受入れにあたっては、献血希望者に対し「お願い！」パンフレットを配布し、海外渡航歴等の有無を確認することで、何らかの感染症のリスクのある方は事前にお断りしている。

加えて、新型コロナウイルス感染症対策として、発熱や咳・呼吸困難等の症状のある方の献血制限についてポスターにより周知し、受付する際には体調不良等がないことを受付職員の口頭による確認をした上で受け入れ、問診及び健康診断を行っている。また、献血会場に入場する際には体温測定を実施しており、発熱が確認された場合（37.5℃以上）は入場を制限している。

<パンフレット>



<ポスター>



⇒受付時の段階で、感染症のリスクのある方及び健康でない方はお断りしている。

2 手順書（参考2）に従った問診内容の確認

質問項目23項目のうち、1つ目の質問として本日の体調について確認する項目があり、献血者の最近の健康状態（食事や睡眠に関する事も含む）を把握し、体調が悪い方からの採血はしないこととしている。さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、発熱や咳・呼吸困難等の症状がないことを確認している。

また、献血者の既往歴については、1年以内に罹患した疾患や現在の健康状態を確認することで、献血者自身と受血者双方の安全性を判断している。

⇒複数の問診を行うことで、感染症のリスクのある方及び健康に問題のある方は採血対象から除外している。

参考1) 問診項目

質問事項1 今日体調は良好ですか。

質問事項11 1年以内に次の病気等にかかったか、あるいは現在治療中ですか。

（外傷、手術、肝臓病、腎臓病、糖尿病、結核、性病、ぜんそく、アレルギー疾患、その他）

参考2) 問診を判断する手順書

・ 検診 SOP 問診判断基準

<一部抜粋>

● 質問事項1：体調確認

今日の体調は良好ですか。

【目的】
献血者の最近の健康状態を把握するための質問である。

【問診判断基準】

- (1) 有熱者、急性疾患にかかっている人、体調が悪いと訴えている人からは採血しない。
- (2) 当該献血者自身にとって、過度の空腹や睡眠不足であると思われる場合は採血しない。
- (3) 原則として、当日に飲酒した人からは採血しない。
- (4) 原則として、健康診断で消化管内視鏡検査やX線造影検査を受けた当日は採血しない。

・ 検診医参考資料

献血延期期間について、疾患は約 2,000 種類、薬は約 5,000 種類掲載している。

(一部抜粋)

(版数 11)

検診医参考資料	既往歴と採血可否	2-1
感染症		
細菌感染症		パラチフス.....C (1m)
Q熱 (コクシエラ症).....C (2y)		鼻疽.....C
壊死性筋膜炎.....C		非結核性抗酸菌症.....C
エルシニア感染症.....C (6m)		百日咳.....C
回帰熱.....C		ブドウ球菌感染症.....C
ガス壊疽.....C (3m)*		ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群 (SSSS)
カブノサイトファーガ・カニモルサス感染症	C
.....C		ブルセラ症 (マルタ熱).....D
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		ヘリコバクター・ピロリ保菌者.....A
(STSS).....C		蜂窩織炎 (蜂巣炎).....C

※ 採血基準等の変更時には関連職員に対し教育訓練を行い、適切な健康診断及び問診が実施できるようにしている。

参考3) 受付から問診までの確認

